



在日韓国人男性に勤務校は「北か南か」

岐阜市の外郭団体の理事長が4月、嘱託職員の採用面接に来た在日韓国人の男性(68)に対し、当時勤めていた学校について、「ここは北か南か」と質問をしていたことが12日、分かった。市は文書で「人権侵害」を認め、謝罪した。

団体は市営施設を管理運営する公益財団法人「岐阜市教育文化振興事業団」。「少年自然の家」で指導補助をする嘱託職員の採用面接だった。

応募した男性は、履歴書の職歴に、大阪府茨木市にあるインターナショナルスクール「コリア国際学園」を記載。理事長は4月15日の面接で、この学校について「ここは北か南か」と

岐阜市の外郭団体理事長

職員採用面接で質問

「ここは北か南か」というところから生徒が来ているのか」と質問した。男性は「韓国と北朝鮮のどちらを支持しているのかを聞かれていると感じ、うろたえた」と話す。結果は不採用だった。

職業安定法の規定で、雇用主は業務に必要な範囲内ではか求職者の個人情報を集められず、厚生労働省は本籍や民族、思想・信条にかかわる情報などの収集を原則的に禁止する指針を出している。同省就労支援室は「業務と関係ない質問をしたのなら不適切。『北か南か』の質問は、本人の政治的信条の把握が目的と受け取られかねず、その意味でも問題だ」と話す。

朝日新聞の取材に、理事長は

「学園の名前を見て北か南か知りたくなり、業務と関係のない質問をしてしまった」と認めている。

男性は同事業団と、事業団を指導する岐阜市教育委員会に抗議。市は8月3日付で、「発言は人権を侵害し不適切だった」とする細江茂光市長名の文書を男性に送付した。市教委と事業団も口頭で謝罪した。男性は「再発防止のため今回の問題を市民に公表してほしい」と求めている。

市教委の石原徹也・教育立市政策審議監は「人権侵害の実例として、啓発用冊子などで紹介できないか検討する」と話している。(黄激)

「人権侵害」発言の当事者は、元市理事で研修最高責任者のOB・・・

岐阜市にはハラスメント対策の冊子があります。ハラスメント対策冊子は大変先進的とのことで、「参考にしたい」と他都市からのお問い合わせが多いとの事です。その冊子を作成されたときの部長職は大見富美雄行政部長であったと記憶しています。

岐阜市を行政部長・理事で卒業され、教育文化振興事業団理事長に人生第二の職場を見つけられました。人事畑を多く経験され、職員研修の最高責任者でした。また、行政部長の職責から職員の不祥事に関し、多くの処分に関わってこられたと記憶しています。4月の採用試験の件が8月に表面化の怪。朝日新聞の報道後に記者発表？ 各紙報道は翌日。事件検証の第三者委は事業団理事長（発言者）下に設置される不思議？ 市民問い合わせが続きます。今日までの岐阜市職員への人権研修の質が問われているのでは。